土砂災害防止法に基づく基礎調査に係る 告示図書(案)等の確認について 【読み合わせマニュアル】

1. 目 的

読み合わせの目的は、基礎調査業務により作成された告示図書(案)、区域調書、及びGISデータについて県庁(河川環境課)・発注者(土木事務所)・受注者の3者で体裁や端部設定根拠、区域形状等の確認を行うことで、様式や区域設定の考え方を県内で統一させることを目的としている。

2. 時期

読み合わせ時期は、告示図書(案)及び区域調書作成後、公表(市町村長への結果通知や住民周知)前に実施することとなるが、委託契約の履行期限1カ月前程度を目途に行うものとする。

3. 実施方法

読み合わせ方法は、本庁河川環境課において対面での実施を基本とするが、WEB形式による実施も可能とする。WEB形式による実施の際は、主催者(ホスト)は原則として受注者が担うものとする。

また、読み合わせ対象の箇所数、仮区域数が多い場合には、複数回に分割しての実施も可能とする。

4. 役割

読み合わせの役割は下表を基本とする。

役割	担当	作業内容	必要機器等
読み上げ者	河(1)	告示図書(案)(様式3)の各測線間の力(色)の	PC
	(技)	読み上げ。	(DB・調書確認用)
		区域調書(様式3-2)の力、高さの読み上げ。	
		端部根拠・区域形状の確認。	
		GISデータに基づく所在地、箇所名の決定。	
確認者	河②	読み上げ内容(告示図書(案)(様式3))と告示	
	(事)	図書(案)(様式2)の確認。	
		読み上げ内容(区域調書(様式3-2))と告示	
		図書(案)(様式3)の確認。	
		対策施設、端部根拠、修正事項等の記録。	
		GISデータの区域形状、位置の確認。	
		GISデータに基づく所在地、箇所名の決定。	
説明者	土	端部根拠・区域形状の説明。	_
説明者	受	端部根拠や対策施設、その他質問等の対応。	PC
(補助)			(GIS データ確認用)

河:河川環境課職員 土:土木事務所職員 受:受注者

5. 資 料

読み合わせの資料は下表を基本とし、受注者が用意することとする。

なお、事前に河川環境課へ送付するデータについては、土木事務所において過不足や 破損がないことを確認したうえで送付する。

資料名	部数	備考
告示図書(案)	1式	事前(2営業日前を原則)に河川環境課に pdf データを送付
		する。
区域調書	1式	事前(2営業日前を原則)に河川環境課に pdf データを送付
		する。
GISデータ	1式	事前(2営業日前を原則)に河川環境課にデータを送付する。
(シェープファ		なお、データはイエローゾーン、レッドゾーンごとに分けて
イル)		作成すること。
		1F/1X 9 2 C 0
		ニカルト・フィーン
		データ作成イメージ
		ALL_REDZONE.dbf
		ALL_REDZONE.shp
		ALL_REDZONE.shx
		ALL_YELLOWZONE.dbf
		ALL_YELLOWZONE.shp
		ALL_YELLOWZONE.shx
		ALL_ILLOWZONESIX

<参考>

【シェープファイル(Shape File)とは】

シェープファイルは、基本的にファイルの拡張子が、「.shp」「.dbf」「.shx」の3つのファイルで構成されており、それぞれのファイルには下記のような特徴があります。

! 	拡張子	説明
: 	shp	図形の座標が保存できる。
 -	dbf	属性の情報が保存できる
 	shx	shp の図形と dbf の対応関係を保存

6. 作業フロー

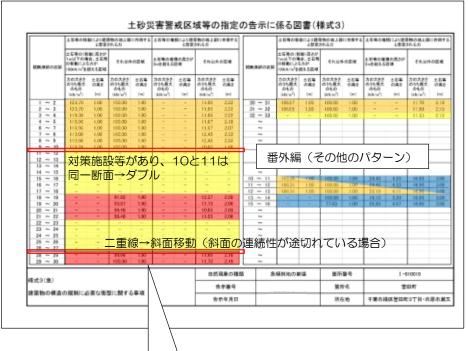
作業の流れは以下のとおり。



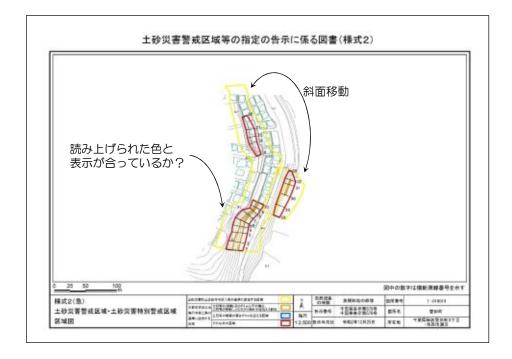
7. 各 Step における読み合わせ

次ページ以降に、各 Step における確認内容や注意点等を示す。

なお、Step.0については、河川環境課内で事前に実施することとし、Step.1以降については、河川環境課、土木事務所、受注者の3者で実施するものとする。



カ(色)の種類	条件
イエロー	全てに数値が無い
レッド	2列目及び4列目に数値がある
オレンジ	1列目に数値がある+3列目に数値が無い
ブルー	1列目に数値が無い+3列目に数値がある
オレンジ+ブルー	全ての列に数値がある



河①

告示図書(案)様式3の各測線間の力(色)を読み上げる。

(左図の例) 1-2オレンジ (略) 9-10オレンジ (略) 10-11ダブル 11-12イエロー (略) 18-19レッド (略) 26-27イエロー

斜面移動

(略)

28-29レッド

河②

読み上げ内容と告示図書(案)様式2の力(色)が合っているか確認する。

【注意】

表示されるのはレッド測線、 オレンジ測線、ブルー測線、 オレンジ+ブルー測線。

	3-2 建築物に作												調査		会配さ	左尾
- 85	発料地の位置	開發	番号	J-0186		第四名			2,12 st.	M	在地・子芸			000 NOW Z	_	
18 (6)				他の下端にお								急機料金	_			
36 89	164		編制力の大きを		- 1	石等の整理条件と	.,		154		の高さと力の大きさ			と有等の組織高され	11-0-7-12	_
#9	展 分	Pict Cod	下級からの数値	200,000	H 2	下級からの水平 更報(m)	inc.	方の大きさ	B 22	Ale Date	THE-COTA	力の大きさ	B 2	THOGOTH	ALC: DISC	力の大き
	100AVW#EE1&	7.00	0.00 - 7.08	110.32	Ind Silk		-	-	rocks/w/etClt-5	1.00	1178 - MAP	110.32	加速混乱表		-	
4	÷8.031	2.00	108 - 887	100.00	thun	0.00 - 8.87	211	11.46	その4591	1.00	5.00 - IV.III	100.00	en.un	200 - 1030	211	22.6
2	1008年7月1日日本本	7.00	6.09 = 7.55	129,70	Indianta		-	_	1000年(中国12年表	1.00	ARREST TO 17 SEP-	129.70	India to		-	
ĕ	±8.05i	2.00	1.01 - 3.01	J00.00	énue	0.00 - 8.00	2.22	11.90	£81,039	1.00	2.00 - 10.00	100.00	611.036	200 - 2500	2.77	22.9
3	DOWN MARKET 9	1.00	0.09 = 7.09	119.39	知徳盟える		-		DOWN WEEKS &	1.00	20.60 ~ 23.66	119.30	和金箔包包		-	
œ	40.05	7.00	1.25 - 3.07	100 00	than	680 × 887	2.22	11.60	enan	1.60	5.00 - 15.00	100.00	than	500 = 3500	2.22	11.8
	IDDAN/YF世纪文章	2.00	am = am	110.67	加速图度表		-		IDDAN/IN性程文表	1.00	12:07 - 13:20	130.67	知時間沒有			
•	老老双约	2.00	6.25 - 8.69	100.00	€8.US	0.00 ~ 4.40	211	11.27	それ以外	1.00	5.00 - 1947	100.00	en.un	200 - 220	2.11	11.1
3	HONN/WEST &	1.00	0.00 = 7.00	115.95	Indidto.				HOURS/INTEREST &	1.00	11.15 = 15.20	135.95	broth still to			
-1	干水块的	2.00	7.00 - 8.01	100.00	Enum	040 - KAO	2.18	11.67	そのお外	1.00	5.00 - 11.00	100.00	それ以外	500 - 200	2.08	11.6
а	100kW/Wを組える	1.00	0.09 = 2.09	113.90	か企業もな		-	-	1008/4/何定程未合	1.00	HH = MM	133.90	and健康电影		-	
in.	E 0.835	2.00	F.001 - (F.00)	100.00	6han	0.00 = 8A5	2.05	A0.95	电电极时	1.00	5.00 - 11.00	100.00	611.85	400 - 100	2.05	10.0
7	100kW/VFE程末点	2.00	0.00 - 0.07	112.00	知過機能を		-	-	TOOMS WEEK &	1.00	2007 - 1200	112.00	知を得える		-	
	それなが	2.00	0.67 - 8.66	100.00	enas	000 = 600	2.07	11.07	それ以外	1,497	6.00 - 34.67	102.00	68.05	400 - 200	2.07	11.0
N	100kN/W/6課化る	7.00	0.00 = 0.00	105.86	hei離れる		-	-	1008/01/16管理系令	1.00	Aces - Arec	705.8H	line(Mt.S		-	
~	₹8.0.65	1.00	0.8 - 8.0	100.00	enun	0.00 - 8.00	2.22	12.45	ENUM	1.00	5.00 - 10.01	100.00	en.un	400 - 11.01	2.88	124
×	100(4) (安徽人名	2.00	0.00 - 0.02	138.60	かき無える		-	-	1000年中華報本名	1.497	MMC - MAR	J3266	3mを強える		-	
	专业技术	7.00	0.32 - 8.07	100 00	全批组件	010 × 830	Las	149,400	老物技術	1.00	5.00 - 12.00	100.00	老れ世界	500 - 1112	1.06	344
10	100(4) (W) 色観える	1.00	0.00 - 1.20	138,24	Indibité		-	-	1008/01/19(長報末春	1,487	TEST - Man	13824	Jones Clinical Control		-	
w	+8.03	2.00	121 - 639	100.00	6has	610 - 830	1.89	A0.05	ENDS	1,60	5.00 - 17.00	102.00	68.08	200 - 444	28.1	10.0
II	100kN/WFEEL&	-		-	加速器はる		-	-	100kN/m/EELL&	-		-	加美国主旨		-	
"	+8.05	-		-	enus		-	-	それなが	-		-	enas		-	
12	DOM:WEEL&	-		-	messia		-	-	HOME WIELD	-		-	和建盟元表		-	
12	-20.05	_		-	thus	- ~ -	-	-	enan	-	- ~ -	-	enux		-	
10	TOTAL WEEKS	-		-	Indition.		-	-	100kM/M使程文表	-		-	知時間沒有		-	
10	£6.0.51	-			enum			-	そのほが	-			en.un			
14	TOWN WEIGHT	-		-	Indigită		-	_	DOM: WEEK &	-		-	加速溢出表		-	
16	+8.05	_		-	enum		-	-	そのほが	-		-	611.034		-	
15	DOWNWEST &	-		-	hest.	- ~ -	-	-	HOURS WITH BEET & &			-	indigt 6			
10	干水以 的	-		-	enun		-	-	#BER	-		-	enun		-	

※読み上げ順番

- ①2測線の測線番号
- ②移動の力の大きさ
- ③堆積の力の大きさ
- ④堆積の高さ

	土石等の様		表際の地上部 からなり	に作用する	土石等の種		見物の毛上部 されるカ	1:0M76		五石等の事品により建築物の地上部に作用する と飲食される力				土毛等の機能により重要物の株上部に存在 上意識される力			
ttento x k	1世紀下の後の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	土石等の(製能)高さか 1m以下の場合、土石等 の製能による力が 180kg (n ² を超える基項		енинови		土市等の場構の違さが 3~を超える区域		OCH	ithe minosist	土石等の1日間(高かか) 1回以下の場合、土石等 の移動によるかか) 100×5/10 ⁴ を組える医療		chustoma		土形等の確保の思さが 3~を経える記載		евинови	
	力の大きさ の行を最大 のもの (AB/W ²)	土石等 の高さ [m]	カロ大きさ の35億大 の4の (MOV ²)	土石等 の第6 (m)	カの大きさ のうち最大 のもの DHAW?		カの大きさ のうち様大 のもの かないご	主石等 の高さ (m)		カロ大きさ の35億大 の4の DMO()	土石等 作集() (m)	カの大きさ の35億大 のもの 345m ²	土石等 の高さ (m)	カの文をさ のうちを文 のもの baseさ	土石等 の高さ (m)	力の大きさ の行う様文 のもの (Marie ²)	±3 es
1 - 2	123.70	1.00	100.00	1.00	-	-	11.90	2.22	30 31	106.97	1.00	100.00	1.00	-	-	11,70	2.1
2 ~ 3	123.70	1,00	100,80	1.00	-	-	11,90	2.22	31 ~ 32	106,85	1.00	100,00	1,00	-	-	11.50	2.1
3 ~ 4	119.39	1.00	100.00	1.00	-	-	11.86	2.22	32 ~ 33	-		100.00	1.00	-		11.33	2.1
4 ~ 5	115.95	1.00	100,00	1.00	-	-	11,67	2.18	~								
6 ~ 7	115.95	1.00	100.00	1.00	-	-	11.07	2.07	- N								
7 ~ 8	113.00	1.00	100.00	1.00	-	-	12.45	2.33	~								
8~9	110.96	1.00	100.00	1.00	-	-	12.45	2.50	~								
9 10	118.24	1.00	100.00	1.90	-	-	10.60	1.96						_		_	
11 ~ 12	-	-	-	-	-	-	-	-	~								
12 ~ 13	-	-	-	-	-	-	-	-	~					_		_	
13 ~ 14		-	- 1	-	-	-	-	-	~								
14 ~ 15	-	-	-	-	-	-	-	-	~					_		_	
15 16	-	-	-	-	-	-	-	-	~								
16 ~ 17	-	-	-	-	-	-	-	-	~								
17 ~ 18	-:-	-	91.82	1.00	-	-	13.37	2.50	~					_		_	
18 ~ 19		-			-	-			~								
	-		95.67	1.00	-		11.13	2.08	~					_		_	
20 ~ 21	-	-	96.40	1.00	-	-	11.03	2.06	~					_		_	
22 - 23	-:-		99.40	1.00	-		11.00	2.06	~								
22 ~ 24	-	-	-	-	-	-	-	-	~								
24 ~ 25		-		-	-	-	-										
25 ~ 26	-		-	-	-			-	~								
26 ~ 27	-	-	-	-	-	-	-	-	~								
28 ~ 29	-	-	99.90	1.00	-	-	11.66	2.18	~								
29 ~ 30	-	-	100.00	1.00	-	-	11.70	2.19	~								
								現象の様に		福祉協力量		B/6	9.0.		-	010019	
標式3(魚)									_	(基金を含む)	_						
IN THE PARTY OF TH	の規制に必要な衝撃に関する事項						- 9	1小番号	73	95091	14	製料名		雲田町			

河①

区域調書様式3-2の各測線間の力及び高さを読み上げ。

各測線間における最大値を読み上げる。

移動と堆積の力それぞれに対して読み上げる。

(左図の例)

1-2 力の大きさ123.70 高さ2.22、力の大きさ11.90

【注意】

(1)力の選定については、マニュアル5.2.7を一読すること。

2測線間のうち1測線だけが「力の大きさ(移動)」100kN/m2を超過している場合には、読み上げ値は「100kN/m2」(2段目の値)となる。

※「力の大きさ(堆積)」及び「高さ(堆積)」 についても同様。

- (2) 二重測線(行なし)は河②が宣言すること。
- (3)斜面移動(二重罫線)の際は河②が宣言すること。

河②

読み上げ内容と告示図書(案)様式3 の各測線間の力及び高さが合っている か確認する。

			土石等の他	日本本 日本本 日本本 日本本 日本本 日本本 日本本 日本本 日本本 日本本		に作用する	土石等の単		Bhomilm Sháb	:0876					動物の他上部 かれるカ	・中用する	土石等の報		Mana上部 れるカ	こ作用す
lt m	pa sch	OZM	立石等の報 1mは下の報 の事数による 1808年の情報	会・土石等	скинови		土を乗る場場の含さが 3~を超える区域		enunces.		ижимони		土石等の(資報)高かが 1回以下の場合、土石等 の存職にかるかが 100×1回・を組える回収		Chustoma.		土形等の確復の思さが 3×を軽大る苦味		¢ė.un	oze
			力の大きさ の今も最大 のもの (MA/W ²)	土石等 の高さ Ini	のうちを大 の名	土石等 の集合 (nc)	カの大きさ 土石等 のうち着大 の高さ のもの (344 W ²) (m)	カの大きさ のうち長大 のもの からかさ	大 の高さ			カの大きさ のうち組大 のもの DMOV ²)	土石等 の第6 (m)	カの大力さ の35億大 のもの 345分う	主石等 の高さ (m)	カの大きさ のうち最大 のもの MANO	土石等 の高さ (m)	力の大きさ の行う様式 のもの (Ab/w ²)	土石等 の高さ ini	
-1	-	2	123.70	1.00	100.00	1.00	-	-	11.90	2.22	30 ~	- 31	106.97	1.00	100.00	1.00	-	-	11,70	2.19
2	- 04	3	123.70	1.00	100,00	1.00	-	-	11,90	2.22	31 ~		106.85	1.00	100,00	1,00	-	-	11.50	2.15
- 3	my	4	119.39	1.00	100.00	1.00	-	-	11.86	2.22	32 ~	33	-	-	100.00	1.00	-	-	11.33	2.12
4	-	5	115.95	1.00	100.00	1.00	-	-	11.67	2.18	- 04									
- 6	~	7	115.95	1.00	100.00	1.00	-	-	11.07	2.07	- ~									
,	~	-	112.00	1.00	100,00	1.00	-	-	12,45	2.33	-									
-		-	110.96	1.00	100.00	1.00	-		12.45	2.50	- ~									
- 5		-74	118.24	1.00	100.00	1.90	-	-	10.60	1.96	-									
11		12	-	-	-	-	-	-	-	- 1	~									
12		13	-	-	-	-	-	-	-	-							_			
14		15	1 : 1			-	-	-			1 ~									
15					-		-		-		-									
16		17	-	-	-	-	-	-		-										
12			-	-	-	-	-	-	-	-	-									
18	-	19	-	-	91.82	1.00	-	-	13.37	2.50	- 0									
19		20	-	-	95.57	1.00	-	-	11.13	2.08	- ~	,								
20	-	21	-	-	94.48	1.00	-	-	10.85	2.03	-									
21	mi	22	-	-	96.40	1.00	-	-	11.00	2.06	- ~									
22		23	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
23		24	-	-	-	-	-	-	-	-	- 04									
24		25	-	-	-	-	-	-	-	-	- ~									
25		26	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
		_	-	-	-	-	-	_	-	-	-									
	-54		-	-	99.90	1.00	-	-	11,66	2.18	- ~									
_22	~	30	_	-	100.80	1.90	-	_	11.70	2.19	_ ~	_								
of:	ere								885	現象の種目	ă .	9.	編料他の単	145	田市(84		I -0	10019	
	物の構造の規制に必要な影響に関する事項								9	1789					報用	8		2	四町	
100	900	W/E	0.000 041 270	単の第2	El-101 9 4	-				ne au					266	an .	7.000.00	or Mirror	eTB-6	W-1-14

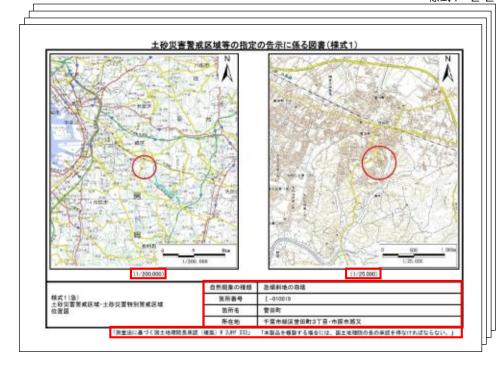
河①

告示図書(案)様式3の自然現象の 種類、箇所番号、所在地を読み上げる。

(左図の例)

自然現象の種類、急傾斜地の崩壊 箇所番号、I-O1OO19 所在地、千葉市緑区営田町3丁目 ・市原市瀬又

様式1~2-2



河②

読み上げ内容と告示図書(案)様式1 ~2-2が合っているか確認する。

様式1について、図面の縮尺が左図 1/200,000・右図1/25,000となっ ているか、測量成果の承認番号が記載 されているか、各項目が左揃えとなっ ているか確認する。

【注意】

区域が市町をまたいでいる場合には、両市町名が記載されているか確認。

所在地は〇〇市から〇〇丁目 まで記載。

※町の場合は〇〇郡から記載する。

読み合わせメモ

	読み合わせ日:	土木事務所名:		箇所数:		笛所
	担当者職氏名 河川環境課:					
	土木事務所:	***************************************				
	受 注 者:					
No	箇所番号	対策工		設定	修正事項	備考
			起点	終点		
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7	·					
8						

河②

Step.2、Step.3の実施にあたり、 読み合わせメモに「読み合わせ日」、 「土木事務所名」、「箇所番号」等、 左記赤枠内を事前に記載の上、3者で の読み合わせを実施すること。

1:1,500



読み合わせメモ

凡例 ◆ ● 施粉田童

Oに数字は飛取番号を表す

	読み合わせ日:	土木事務所名:		箇所数:		箇所
	担当者職氏名					
	河川環境課:	_				
	土木事務所:			*****	***************************************	
	受 注 者:					
No	箇所番号	対策工	端部	設定	修正事項	備考
			起点	終点		
1						
2						
3						
-						
4						
5						
_						
6						
7						
8		İ				
٦						

※読み合わせメモ別紙を準備しておく。

1:1,500

河②

読み上げた対策施設を記号で記入する。

【注意】

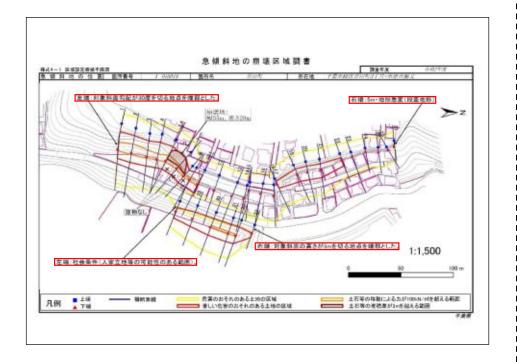
読み合わせメモ別紙の「対策工に ついて」を確認する。

受

有効な対策施設があるにもかかわらず レッドが出ている場合は説明する。

(区域調書4-3等の資料で残斜面等 の説明をする。)

また、対策効果無しの場合は根拠を説 明する。



読み合わせメモ

訳の	が合わせを七					
	読み合わせ日:	土木事務所名:		箇所数:	·	箇所
	担当者職氏名					
	河川環境課:	_				
	土木事務所:		******************	***************************************		
	受 注 者:					
No	箇所番号	対策工	端部	3設定	修正事項	備考
			起点	終点		
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8					<u> </u>	

読み合わせメモ別紙

修正内容一覧表	ver.2.0
①	
2	
3	
4	
(S)	
6	
7	
8	
9	
10	
10	
10	

対策工について

(1)	ノロック積み攤壁
2	コンクリート擁壁
3	法枠工
4	アンカーエ
(5)	もたれ式擁壁工
6	重力式擁壁工
7	その他擁壁工
8	待ち受け式擁壁工
9	モルタル吹付エ

① 石積擁壁工① その他対策施設

##部設定について ア 地形変化点(要件) ①5m未満 ②30度未満 イ 既指定区域(箇所番号、箇所名) ウ 土地利用境界(立地条件なし) ①林地 ②田畑 ③荒地 ④道路 ⑤その他 ⑥ため池 ⑦尾根 ⑧傾斜地 ⑨谷 ⑩湿地 ⑪墓地

河①

区域調書様式4-1から、斜面の端部 根拠を読み上げる。

(左図の例)

最初の斜面 起点30°、終点5m 次の斜面 起点社会条件、終点5m

斜面の端部設定根拠について、区域 調書様式3-8、4-1、4-2において 整合していることを確認する。

土(受)

必要に応じ各測線の端部根拠について、 区域調書の写真や断面図で説明する。

【注意】

区域の左右端部について、特に「土 地利用境界(立地要件なし)」により 設定する場合には、航空写真や様式 3-8の写真を基に妥当性を丁寧に説明 すること。

河②

端部設定根拠を記号で記入する。

河①②、土、受

読み合わせ結果の修正事項を3者で確認し、読み合わせメモを河②から土木事務所を通じ受注者に提供する。 受注者は、読み合わせメモに基づき 資料を修正する。

受

読み合わせメモに基づき区域設定に修正が生じた場合には、GISデータを修正し、河川環境課へ提出する。

Step.4:箇所名の決定、修正箇所等の確認

区域名は「大字名+通し番号」とし、通し番号は既指定区域で同じ大字の最も大きい番号から連番とする。なお、欠番となっている番号はそのまま空けておく。

例)【簡所番号】 【基礎調查予定箇所名】 【区域名】
I-3443 → → 市場町 1 (指定済)
I-011K2011 → 市場町 → 市場町 2

 丁目のある大字は「○○丁目」を抜いて大字名とする (ただし、所在地は丁目まで入れる)。

例) 小仲台2丁目 → 小仲台○

 通し番号は調書ができた順に付番し、同時に複数箇所の調書が作成された場合は ランクごと (ランク I から) に付番する。

例) 【基礎調査予定箇所】 【区域名】 ランク I 市場町 → 市場町2 π 市場町 → 市場町3 ランク II 市場町 → 市場町4

4)住民周知から区域指定までの間に区画整理等で大字名が変わった場合でも、新たな 大字に合せた区域名の変更は行わない。

河②

(1) 所在地の決定 Step3の完了後のGISデータ及び告示 図書、区域調書に基づき所在地名を 決定する。

【注意】

区域が字、市町に跨り設定される 場合には、区域に占める割合の大きい 字(市町)順とした所在地名とする。

例:鴨川市金束(60m2) 鴨川市古畑(40m2) ⇒所在地:鴨川市金束、古畑

箇所名:金束〇

※面積の確認は、ちば情報マップに GISデータを読み込ませ計測する。

(2) 箇所名の決定 1巡目及び2巡目のDBを確認し、左 記ルールに基づき箇所名を決定する。

(3) 所在地、箇所名の提供 決定した所在地名、箇所名を土木事務 所を通じ受注者に提供する。

受

読み合わせメモに基づく修正とともに、 提供された所在地名、箇所名を告示 図書(案)、区域調書、GISデータに 記載した上で、土木事務所に再度提出 する。

土

土木事務所は提出された告示図書 (案)及び区域調書が読み合わせメモ に基づき修正されていることを確認し たうえで、河川環境課へ提出する。

河①、②

河川環境課は提出された告示図書 (案)、区域調書及びGISデータが 読み合わせメモに基づき修正されて いることを確認し、修正漏れがある 場合には土木事務所を通じ受注者へ 修正を指示する。